



VOICE 座学では得られない多くの学び

飯田 康太郎 (4年・奈良県・地域枠)

外来や回診での見学のときに、実臨床での対応方法を多く教わりました。座学で学んだことも多くありましたが、患者さんの病態に対して、すぐにその知識を出すことは難しかったです。実際の患者さんの症例を見ながら病態を学ぶことができるのがとても良い経験でした。来年から始まるクリニックでもその感覚を大事にしたいと思いました。

どうしてその実習先を選びましたか？

県内唯一のガンマナイフ治療

認知症や脳梗塞などの脳神経系の疾患に興味がありました。なので脳神経系の診療科へ見学に行きたいと考えていました。その中でも脳神経外科のガンマナイフ治療は県内でも黒石病院だけの治療方法であり、ぜひ見学してみたかったので、黒石病院での実習を選択しました。

実習先の良かったところは？

柔軟に使える知識にするために

カンファや病棟回診・救急外来の見学をしたことで、実際の現場では、ただ知識を蓄える以上に、その知識を迅速に柔軟に使えるものとしておくことが大切であると肌感覚で実感することができました。日々の勉強でもこういったことを意識していこうと思いました。さらに初期研修医の先生からお話をお伺いできたことが嬉しかったです。初期研修先の選び方やその後の将来設計についても考えることができました。

実習の流れ

黒石病院の実習スケジュール

脳神経外科実習



午前

回診・手術見学

08:30 朝の病棟回診

09:00 ガンマナイフ治療の見学

実際の患者さんのカルテを用いて、先生から質問をしていただきながら、診断・治療について学びました！

ガンマナイフ治療の見学では、侵襲性の低い治療で、術中にお手洗いに行けるなど患者さんへの負担が少ないことに感動しました。AIも多く活用されていて驚きました。

午後

カンファレンス・救急外来

13:00 ガンマナイフ治療の見学

16:00 カンファレンスに参加

18:00 救急外来の見学

初期研修医の先生に付いて、救急外来の見学をさせていただきました。当日お願いして実現していただいたので、聞いてみるのも良いと思います！

Q & A

実習参加者の声

Q1. どのような医師になりたいですか？

脳神経分野や救急医療に興味があり、また将来的にはへき地医療にも携われれば良いなと思っています。ありきたりな表現にはなりますが、患者さんの生活に寄り添える医師になりたいと考えています。

Q2. 最初に立てた目標は？

実際の医療現場を知り、何が大切なのか身を持って実感することで、普段の勉強・特にCBTの勉強のモチベーションや指針にできるようにしたいと思いました。そして、その病院の特色を知り、各病院の良さや診療科の良さを学ぶことで、将来設計をより具体的なものとしていきたいと思いました。

Q3. 黒石病院までのアクセスは？

弘前駅から黒石駅まで電車、黒石駅から徒歩25分くらいです。弘南鉄道の弘前駅の改札は別の場所にあっで迷ったので、時間に余裕を持って行くと安心だと思えます。毎日弘前にある自宅から通いました。

Q4. 実習に向けて準備したことは？

脳神経外科・内科の内容をざっくり確認しました。見学する科に関してはある程度答えられるようにしておいた方が良くと思います。

Q5. 宿泊場所はどんなところ？

自宅から通いました。本来宿泊予定だった旅館はお盆で休みだったので、自宅から通うことになりました。応募後、黒石病院から連絡がありました。

Q6. 食事はどうしましたか？

昼ごはんとして、病院食を用意していただきました。

Q7. 食費はどれくらいかかりましたか？

昼ごはん代は無料でした。

Q8. 持ち物は？

KCと白の靴、名札を持っていきました。靴は特別な指定はありませんでした。名札の他は1年生のアーリーと同じ、という認識で大丈夫だと思います。

Q9. 衣類以外の持ち物は？

自宅から通ったので、衣類やアメニティなどは持っていきませんでした。